

『混迷する世界経済と資産運用を考える』

世界経済が不透明になりつつある中、2020年は東京オリンピック開催・米国大統領選挙が実施される重要な年となります。また個人の金融資産が1830兆円に上る中で、老後に備える資産運用への関心や必要性は、これまで以上に高まっていくでしょう。そこで2月の継続教育研修会では『混迷する世界経済と資産運用を考える』と題し、変化の激しい経済市場の動向と今後必要となる資産運用の鉄則について、為替のレジェンドこと田中泰輔氏と資産運用がご専門の篠原滋氏のお二人にご講演いただきます。

開催日時：2020年2月8日(土) 13:00～16:30

第一部 為替から読み解く～世界と市場～

＜田中泰輔リサーチ 代表＞ 田中 泰輔 氏

円には日本の景気悪化時に上昇する特異な性質があり、国内外投資で翻弄され続けました。しかし、円相場の一見アマノジャクな性質を素直な逆指標として使えば、世界と市場をすっきり見通せるばかりか適切な投資スタイルも浮かび上がります。本講演では世界の最新情勢と展望を為替変動の美ロジックを軸に解説いたします。



第二部 FPとして今こそ確認したい～資産運用の基本とセオリー～

＜野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社 シニアオフィサー＞ 篠原 滋 氏

人生100年時代を迎え高まる資産運用への関心。しかし氾濫する情報の多くは必要のない雑音であり、あるいは営業目的のアドバイスです。本講演では、業務を通じて世界の優れた運用者から得た独自の知見に基づき、どのような環境下でも変わらない資産運用成功の鉄則を、豊富なデータを交えてわかりやすく解説いたします。



田中 泰輔 氏 【プロフィール】

田中泰輔リサーチ代表。米欧日メガ金融機関9社にて35年間市場戦略に従事。20年以上トップアナリストに選出され、国内では日経ヴェリタス金利・為替部門で2010年から5年連続1位。2018年に独立し、金融プロ向けの分析サービスに加え、個人の投資教育に取り組んでいる。週刊ダイヤモンド・日経ヴェリタスの連載に加え、アドバイザーに就任した楽天証券の情報サイト「トウシル」でレポート・動画を配信中。著書に「相場は知的格闘技である」等。1983年慶応義塾大学経済学部卒。

篠原 滋 氏 【プロフィール】

野村證券株式会社入社後、証券営業、日米株式投資調査及び投資銀行業務を経て、1996年に同社内で投資信託分析・評価を立ち上げる。独自の定性評価中心のプロセスを確立し、2000年の野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社設立に参画。20年超にわたり国内外運用機関・商品の分析調査及び厳選した運用商品の組み合わせによる投資助言に従事。国際基督教大学教養学部卒。米国ニューヨーク大学スターン経営大学院経営学修士(MBA)課程修了。

会 場：東京都千代田区大手町1-3-7
日経ビル 日経ホール(右地図参照)

受 講 料：3,300円

認定単位：3.5単位(金融)

※申込受付は、日本FP協会東京支部サイト、または日本FP協会Myページにて12月16日より開始予定。

〈お問い合わせ〉日本FP協会 東京支部
tokyo_bb@jafp.or.jp



特定非営利活動法人(NPO法人)

日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 東京支部